

| | |
|--------------------------|---|
| 名称 | 第2期広島広域都市圏発展ビジョン（素案）に対する意見募集 |
| 趣旨 | <p>広島広域都市圏では、“都市連盟”とも言うべき強固な信頼関係をベースに、国の「連携中枢都市圏制度」を活用しながら、地域資源を圏域全体で活用する様々な施策を展開することで、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現を図っています。</p> <p>この構想に基づき、平成28年3月に策定した「広島広域都市圏発展ビジョン（以下「ビジョン」という。）」は、広島広域都市圏の目指す将来像を示すとともに、その実現に向けて取り組む施策などを取りまとめたものであり、この度、ビジョンの計画期間が今年度末で満了することから、引き続き、構想の実現に向け、第2期のビジョンの素案を取りまとめたもので、これに対する意見募集を行ったものです。</p> |
| 意見提出期間 | 令和2年12月21日（月）から令和3年1月8日（金）まで |
| 結果の公表日 | 令和3年2月18日（木） |
| 提出された御意見の要旨とそれに対する本市の考え方 | 第2期広島広域都市圏発展ビジョン（素案）に対する意見募集については、5件（3人）の御意見を頂きました。提出された御意見の要旨とそれに対する広島市の考え方は別添のとおりです。 |
| 問合せ先 | <p>企画総務局 企画調整部 広域都市圏推進課（市役所本庁舎11階） 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 Tel：082-504-2017 Fax：082-504-2029 Email：kouiki@city.hiroshima.lg.jp</p> |

御意見の要旨とそれに対する広島市の考え方

| 御意見の要旨 | 広島市の考え方 |
|---|--|
| <p>広島駅を広域都市圏の玄関口として位置づけ、広島駅周辺地区の街づくりを推進していくことが重要であり、広島駅地区において広域都市圏内の住民が各種行政サービスの提供を受けられるよう、新たに目標設定を付け加えてほしい。</p> | <p>広島広域都市圏では、圏域内住民に対する行政サービスの効率化や利便性の向上を図るため、圏域内市町の連携により、行政資源の相互利用や施策の共同実施、行政サービスの補完などに取り組むこととしています。御意見については、今後の具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます。</p> |
| <p>紙屋町・八丁堀地区又は広島駅周辺地区内に、広域都市圏内の各市町の特産品などを展示・販売する常設のアンテナショップを早期に設置できるよう、具体的な計画・目標を設定してほしい。</p> | <p>広島広域都市圏では、圏域特産品の販路や消費の拡大を図るため、各種イベント等への出展支援や地域商社機能を活用した販売促進事業等を行っており、その中で、広島市中心部での販売場所の確保にも取り組んでいます。御意見については、今後の具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます。</p> |
| <p>広島広域都市圏内の交流促進を推進していくため、都市圏内を貫く歴史街道である西国街道や雲石街道などを活用した賑わいづくりについて、具体的な取り組みとして新たに目標設定を付け加えてほしい。</p> | <p>広島広域都市圏では、圏域内の様々な観光資源を結び付け、個々の魅力を相乗的に高めることにより、圏域全体として誘客の促進を図るとともに、圏域内に広域的な観光ルートを創出し、滞在型観光客の拡大に取り組むこととしています。御意見については、今後の具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます。</p> |
| <p>新型コロナウイルス感染症により、暮らしやすいまちづくりへ向けて、分散やマスクをつけるといった行動をとっているが、人に会うためにカフェに行ったり、旅行に行ったりとのんびり暮らせるようロボットを活用するなどして、活動しやすい社会にしてほしい。</p> <p>また、バリアフリーとユニバーサルなまちづくりをしてほしい。</p> | <p>広島広域都市圏では、圏域で生活している全ての人々が「愛着」と「誇り」を持ち、「この地に住み続けたい」と思うまちづくりの実現を目指すべく、今後も各市町と密接に連携を図りながら様々な施策を展開していきたいと考えており、御意見については、今後の具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます。</p> |

| 御意見の要旨 | 広島市の考え方 |
|--|--|
| <p>かき養殖を中心とした漁業経営の安定化では、広域都市圏内の海洋環境改善の事業（方策）にも取り組むべきと考える。</p> <p>具体的には、広島養殖かきのブランド化には養殖方法の改良・改善が必須であり、一つの方向性として海ごみの削減（かき養殖ごみの削減）にもつながる養殖方法に取り組む必要があると考えている。</p> <p>東北宮城県のかき養殖方法は東日本大震災のインパクトにより劇的に変わっているようである。日本一のかきを守り発展させるためには、海ごみの削減にもつながるような養殖方法にじわりと変化させ、新たなブランド化に取り組む必要があるのではないかと考える。</p> <p>「主な事業」に、このような方針を打ち出せるとよいと考える。</p> | <p>広島広域都市圏では、圏域のかき養殖を中心とした漁業経営の安定化を図るため、水産資源の確保や消費拡大に取り組むこととしています。御意見については、今後の具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます。</p> |